

## 2015 International Society of Biomechanics に参加して

生命環境科学系深代研 博士課程 4 年（長期履修学生） 川本裕大

「博士課程学生のため国際研究集会渡航助成」を頂き、7月12日から7月18日の7日間、イギリスのグラスゴーで開催された International Society of Biomechanics (ISB)に参加させて頂きました。ISB はバイオメカニクスに関するあらゆる研究分野を対象とした学会で、隔年で開催されています。欧州のみならず、アジア、アメリカからも多くの研究者が参加し、約 650 件の研究発表が行われました。また、研究発表のみならず、基調講演を通して、各分野の歴史から最先端の研究までを幅広く学び、企業のブースでは最新の研究機器に触れることができました。私は専門であるスポーツ分野の研究発表を聴講し、最先端の研究を学び、また研究手法を知ることができました。

私は3日目に「Methodology for computing new segment rotation axis」という題でポスター発表を行いました。この研究では、野球のバッティングなどの打撃動作における「体幹の回転軸」を定義し、その算出方法を提示するという内容でした。プログラム上の発表時間は 70 分と短かったのですが、発表前から各国の研究者の方にいらして頂き、発表時間後、さらには食事の時間でさえも議論し、多くのアドバイスを頂くことができました。議論して頂いた研究者の方に感謝するとともに、見ず知らずの研究者に対しても熱心に議論を交わす研究者の優しさに感動しました。

初めての国外学会へ参加しましたが、自身の研究に対する多くの意見を頂けただけでなく、最先端の研究や研究手法を学ぶことができ、非常に勉強になりました。本学会を通して取り入れた知識やアドバイスを今後の研究に役立てていきます。

